

# 特集にあたって

坂和 正敏 (広島大学)

平成 13 年 9 月 12 日(水)から 3 日間にわたり、岡山理科大学で開催された秋季研究発表会の実行委員長の成久洋之教授からのご依頼により、前日の 9 月 11 日(火)<sup>1</sup>に、私、坂和を実行委員長とする「ファジィ OR」というテーマでの第 46 回シンポジウムが、岡山理科大学において開催された。この第 46 回シンポジウムルポは、会誌オペレーションズ・リサーチの 2002 年の 47 巻 1 号に広島大学の片桐英樹先生による報告が既になされており、ご覧になられたかも知れないが、未読の方は、一読して頂ければ幸いである。

第 46 回シンポジウムのテーマ「ファジィ OR」は、日本オペレーションズ・リサーチ学会 40 周年記念「経営科学のニューフロンティア」シリーズの第 4 巻として、2001 年 4 月に出版された、石井、坂和、岩本編による「ファジィ OR」[1]に因んで選ばれたものであるが、この編著は、会誌オペレーションズ・リサーチの 2001 年の 46 巻 10 号に著書紹介されている。本書の「1. はじめに」では、一般にファジィ理論と OR を結び付ける研究領域をわれわれは「ファジィ OR」と呼んでいると定義づけているが、オペレーションズ・リサーチの分野にファジィ理論を導入した研究領域であるとの認識もなされている。

「オペレーションズ・リサーチ」の編集委員長の上田徹先生の依頼を受け、学会誌特集のオーガナイザとして、第 46 回シンポジウム「ファジィ OR」に基づいての特集号を組むにあたり、シンポジウムに含むことのできなかった「ファジィ OR」の分野の追加等に関して、いくつかの案が検討されてきたが、極めて厳しい紙面の制約のもとでは、わかりやすさと執筆者数とのトレードオフの観点から断念せざるを得なかった。結局、本特集号は、シンポジウムでの講演者に、一般の読者にも理解できるように、シンポジウム予稿集に加筆修正して頂いたものになってしまった。なお、近

年出版された R. Slowiński による編著[2]は、「ファジィ OR」の分野を数多く網羅して、各分野の著名な研究者の分担執筆による貴重な書物として興味深い。

最後に、参考文献に、執筆者関連の「ファジィ OR」に関する成書を紹介しておくので、これらの分野に興味のある読者は、一読して頂ければ幸いである。未筆ながら、ご多忙中にもかかわらず、本特集号への執筆を快諾して頂いた著者の方々に厚くお礼申し上げます。

## 参考文献

- [1] 石井、坂和、岩本編、ファジィ OR、朝倉書店、2001.
- [2] R. Slowiński (ed.), *Fuzzy Sets in Decision Analysis, Operations Research and Statistics*, Kluwer Academic Publishers, Boston, 1998.
- [3] 坂和、線形システムの最適化〈一目的から多目的へ〉、森北出版、1984.
- [4] 坂和、非線形システムの最適化〈一目的から多目的へ〉、森北出版、1986.
- [5] 坂和、ファジィ理論の基礎と応用、森北出版、1989.
- [6] 坂和、経営数理システムの基礎〈線形計画法に基づく意思決定〉、森北出版、1991.
- [7] M. Sakawa, *Fuzzy Sets and Interactive Multiobjective Optimization*, Plenum Press, New York, 1993.
- [8] 坂和、石井、西崎、ソフト最適化、朝倉書店、1995.
- [9] 坂和、田中、遺伝的アルゴリズム、朝倉書店、1995.
- [10] 坂和、離散システムの最適化〈一目的から多目的へ〉、森北出版、2000.
- [11] M. Sakawa, *Large Scale Interactive Fuzzy Multiobjective Programming*, Physica-Verlag, Heidelberg, 2000.
- [12] I. Nishizaki and M. Sakawa, *Fuzzy and Multiobjective Games for Conflict Resolution*, Physica-Verlag, Heidelberg, 2001.
- [13] M. Sakawa, *Genetic Algorithms and Fuzzy Multiobjective Optimization*, Kluwer Academic Publishers, Boston, 2001.

<sup>1</sup> 当日、ニューヨークでは、衝撃的な「米国同時多発テロ事件」が発生し、地球規模での新しい戦争の開始という誠に危惧すべき事態に突入した。